



青森県立大間高等学校 生徒指導部通信

2023 年（令和 5 年）

12 月 22 日（金）

文責：田中大基

2023 vol.14

▼Contents

- 1 赤い羽根共同募金報告
- 2 「よりっとこ」参加報告
- 3 善と悪の狭間で

1 赤い羽根共同募金報告



11 月 28～30 日 **ボランティア活動部** による **赤い羽根共同募金** が行われました。赤い羽根共同募金は、地域の福祉活動や災害復興等に活用されます。ボランティア活動部では、募金の意義や下北地方における使い道等をまとめたポスターやオリジナルの募金箱を作成しました。期間中、**4,078 円**の募金が集まりました。

2 「よりっとこ」参加報告



11 月 26 日（日）大間町総合開発センターにて、「**よりっとこ**」が開催され、**めんちょこ活動部**が運営に参加しました。

「よりよい郷土にしたい」という思いを共有する地域財団や企業・団体等が「地域住民の拠り所」を実現するため、**健康チェック**や**軽食提供**、**エアー遊具運営**等に関わりました。

3 善と悪の狭間で

「人間は気ままに生きると争う悪になる」

ドイツの哲学者 **イマニエル・カント** の言葉です。

人間には生まれながらにして悪に進む傾向があり、**道徳に反すると承知で自己中心的な欲望をとげようとする**本性があつて、それが**悪の根源**であるという考え方です。

夏休みから2学期にかけて、深夜徘徊や SNS をめぐるトラブルが目立ちました。それらのことを高校生が「悪いことだ」とわからないはずがありません。「悪いこと」だと認識しているにも関わらず行ってしまう。何故でしょうか？



カントの言う「**根本悪**」において、「人間における悪の性癖」とは、

ひとつ「**心の弱さ**」(今回は仕方が無い。特別だよ。)

ふたつ「**動機の不純さ**」(みんなやってるよ)

みつ「**心の転倒**」

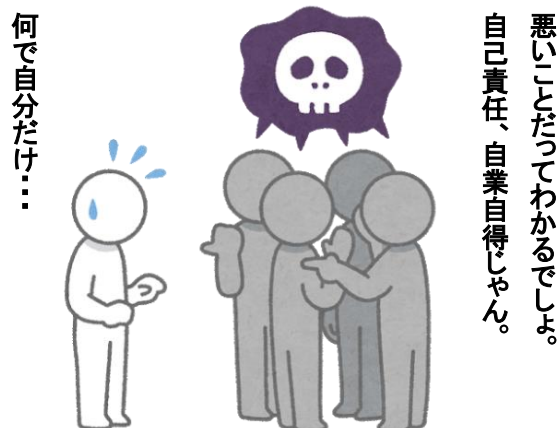
「心の転倒」とは「**道徳よりも自己愛を優先する**」ということです。

「お腹がすいたから食べ物を盗む」「自分の利益のため人を殺す」どちらも同じ「心の転倒」。

しかしこの「**心の転倒**」は、本来なら病気でもなんでも無い。**あくまで個人の「自由意志」**。大なり小なり誰の心の中にだってあるもの。自分が自由に“選んでいる”他人がとやかく言える事ではない。

しかし皆さんがもし、より深い悪に落ち込み逃げ出したくなった時、あまりにも深くだと助けてあげられません。先生達が行ける場所には限界があります。

ですが、あくまで“心の転倒”ですから、**意思**さえあればいつでも起き上がれます。



悪を克服する方法は「**問い続けること**」「**考えること**」です。先生達は訴えることしかできません。

「なぜこんなことをしたのか」「この後どうしたいのか」と問われても「**わからない**」と答える生徒がいます。「**考えない**」姿勢は「**その場その場で流されて何も考えずに**」悪の世界に迷い込んでしまいます。

「**言葉に打たれぬ者は杖で打っても効き目がない**」

「**考える**」ことが、悪を抑止し乗り越える力になると信じています。



イマニエル・カント (1724~1804 プロイセン (ドイツ))

近代哲学の骨格を築いた哲学者。「ドイツ観念論」の祖。人間がもつ理性の限界を確定し、「人間は何を知りうるか」を解き明かしたのが「純粋理性批判」を発表。自由とは、欲求に支配されてやりたいようにやることではなく、自らルールを立て、そのルールを守るという意志の自律を重要視した。